

確かな技術で『山梨ブランド』を市場へ

山梨県オリジナル品種 開発推進会議

果樹試験場が開発した本県のオリジナル4品種の生産を早期に軌道に乗せるため、県や県内の農業団体などで構成する「山梨県オリジナル品種開発推進会議」を組織し、関係者が一体となって取り組んでいます。

具体的には、オリジナル品種の苗木を農家へ普及させることや、販売を支援するためのPR活動などを行いました。これまでに4品種合わせて3万9千本ほどの苗木を農家の皆さんに供給してきています。

まだ新しい品種なので現在の出荷量はわずかですが、今後、苗木が生長していくことで生産量が増加していきます。「果樹王国やまなし」のニューフェイスに大きな期待が寄せられています。

特選農産物認証制度

県産農産物のブランド化を進めるため、平成16年度に「山梨県特選農産物認証制度」を創設しました。

本県の高品質な農産物のうち、糖度や大きさなど特に厳しい基準をクリアしたものを「山河旬彩 山梨の特選農産物」として認証しています。全出荷量の0.2%ほどしか認証されない、まさに山梨の果物の最高品質ブランドです。

現在は、モモの「白鳳」や「浅間白桃」など20品種、スモモの「太陽」「貴陽」、ブドウの「種なしピオーネ」、「ロザリオピアンコ」、「種なし巨峰」、「早生甲斐路」が認証の対象品種となっており、県内の63団体から出荷しています。

平成19年度は約17tが京浜市場を中心に出荷され、高級果物専門店などで販売されました。



県内スーパーにおかれた特選農産物のブドウ



特選農産物認証マーク

INTERVIEW



安心して安全なおいしい果物を、新鮮なままお届けするために…

JAフルーツ山梨
本所直販課長 小林 誠司さん



JAフルーツ山梨は、東山梨地区の10農協が合併し、平成13年2月1日に発足しました。日本の生産量を誇るブドウ、モモ、スモモはもとより、カキ、サクラノボ、リンゴ、キウイフルーツなど、年間を通してさまざまな果物が収穫できる東山梨地区は、生産量も全県の4割以上を占めています。私もは、生産者から共選所に持ち込まれた果物を素早く選別し、新鮮なまま市場へ出す一方、安心・安全な生産のための技術講習や新品種の普及、さらには国内外に向けたPRなど、多岐にわたる活動を展開しており、「特選農産物認証制度」では、1000個に2個程度しか取れない貴重な特選農産物を出荷する重責も担っています。

近年の消費者は、おいしいものなら少々値段が高くても買ってくれるという傾向が強く、生産者も、モモなら大きく糖度の高いもの、ブドウなら粒の揃った味のよいものといった具合に、より高い品質をめざし、心血を注いで栽培に取り組んでいます。私どもとしましては、光センサーによる糖度や熟度の計測を行い、確かな商品を市場に送り出すことで山梨産の果物の付加価値を高めていきたいと考えています。

県産果物のブランド化は、若手就農者に希望を与え、果樹栽培の活性化につながっています。今後の展開に期待するとともに、さらなる発展に尽力していきたいと考えています。

「山梨の果物を全国へ、世界へ」

輸出プロモーション活動・ トップセールス(台湾、京都、東京)

今年6月に台湾で開かれた、アジア地域最大の食品見本市「フードタイペイ」において、ブドウ、モモをはじめ、サクランボ、スモモを展示紹介しました。台湾では、安全で高品質な日本の農産物が高く評価されており、山梨の果物の販売先として大いに期待できます。

ブドウ、モモ、スモモの本格出荷時期を迎えた7月には、山梨県産果物の販路拡大と産地のイメージアップを目指して、知事が県内の農業団体とともに国内各地でトップセールスを行いました。

7月13日と14日には「京都市中央卸売市場」のせり場で買参人に山梨県産果物の品質の高



トップセールス(京都市にて)



サンフルーツ東京ミッドタウン店におかれた特選農産物のモモ

モを配付し、県産果物のPRを行いました。

やまなし輸出促進センター

台湾などアジア諸国で高い評価を受けている本県の農産物について、積極的に販路を拡大していくため、県では今年度から東京大田市場の山梨県農産物インフォメーションセンター内に「やまなし輸出促進センター」を併設しました。

このセンターでは、輸出路開拓のための調査、他県の輸出動向の把握、貿易関係者の相談対応、輸出商談のサポートなど、輸出に係る情報拠点としての業務を行っています。また、海外国際見本市への出展において、山梨の高品質な果物のPRを支援し、やまなしブランドを世界へ発信する役割を担っています。

INTERVIEW

大切に育てられた山梨県産のフルーツは、東京でも人気があります。

株式会社サンフルーツ東京ミッドタウン店店長
フルーツコンシェルジュ 土方 康子さん



サンフルーツは、大正14年創業のフルーツ専門店。一番新しい店舗が、東京ミッドタウン店です。産地を限定した旬の果物や日本では珍しい果物が並ぶギャラリのような店内で、この時期ひとときわ人気なのが山梨県産のモモです。山梨は東京から近いということもあるのですが、身近な産地として多くの方が親近感を持たれているようです。鮮度も良く甘くておいしいと好評で、リピーターもたくさんいます。

当店は高級果物が中心ということもあり、大切な方へのギフトや手土産として利用されるお客様が多く、品質をとて大切にされています。山梨県が認定している「山河旬彩 山梨の特選農産物」のモモは全出荷量の約0.2%という超高級品ですが、県が品質を保証して下さっているのが積極的にお客様にお薦めすることができ、お客様も安心してご購入下さっているように感じます。実は、私自身も山梨のモモは大好き。先日友人に赤ちゃんが生まれたので、「大事に育てたモモです」とプレゼントしたんです。山梨のモモって、赤くて可愛くて、赤ちゃんに似ています。出産祝いにぴったりだと思って、それに、こんなに立派なモモが作れるということは本当に素晴らしいこと。県民の皆さんには、もっともっと誇りにして欲しいと思います。

さて、これから秋になり、ブドウのシーズンを迎えます。今年ほどんなブドウが山梨から届くのか、今からとても楽しみです。